

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和元年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州国際技術協力協会
-----	--------------------

所管課	環境局 環境国際戦略課
-----	-------------

団体に対するミッション
<p>北九州地域に長年にわたって蓄積された広範な環境技術・産業技術と、環境改善の実績を基に様々なツールを活用して、開発途上国の持続可能な発展に貢献するとともに、こうした公益事業（国際貢献）を通じて地域の経済発展及び世界の環境首都の都市ブランドの確立に寄与する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>本市及び市内企業等に蓄積された産業技術を基に、海外諸都市の「産業」と「環境」の調和を目指した持続的な発展に寄与するため、今後も、海外からの研修員の受け入れや海外でのものづくりサポートなどの国際技術協力事業を積極的に推進する。 また、同団体が有する国内外のネットワークを活用し、本市及び関係機関等と連携を深め、国際協力さらには国際ビジネスを推進することにより、国際貢献、産業開発と環境保全の調和を目指す。</p>

ミッションに基づく中期計画								
3～5年後に 目指す状態	開発途上国の持続可能な発展に貢献するとともに、本市の経済発展及び環境首都としての都市ブランド確立に寄与するため、研修員の受け入れ及び国際技術協力を積極的に継続する。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H27	H28	H29	H30	R1		R2	R3
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
研修員受入数（累計）	8,207人	8,676人	9,083人	9,420人	9,500人	9,754人	9,800人	10,100人
技術協力件数 （平成23年度以降累計）	64件	73件	83件	93件	101件	102件	111件	121件
国際人材情報データベース登録者数 （平成24年度以降累計）	2,087人	2,434人	2,747人	2,973人	3,200人	3,201人	3,450人	3,700人

ミッションの遂行状況の評価（令和元年度）			
団体における 評価	<p>研修員受入数については、新型コロナウイルスの影響があったものの、目標を上回ることができた。受託研修日数は、依然として短縮化傾向にあるが、1コース平均研修員は増加した。技術協力件数については、翌年度以降を見据えた事業計画を進めることで着実に成果につながっている。またデータベース登録者数についても順調に伸びている。</p>	市の評価	<p>研修員受入人数、技術協力件数、国際人材情報データベース登録者数の3成果指標すべてにおいて、当初の目標を達成できており、団体の取組みが成果をあげることができたと評価している。</p>
	今後の課題及び見直し内容（案）		<p>研修事業については、市やJICAと連携しながらコース数、人件費単価、研修日数の改善等について協議を進めていく。研修フォローアップなどの新たな研修コースの提案や、新型コロナの影響が続く中、新たな研修の形についても検討する。技術協力事業については、KITAの収益に貢献すべく市内企業の海外展開に向けたコンサルティング業務等をさらに強化していく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	－
<p>KITAは、市やJICA、IGES、JETROなどの関係機関と積極的に連携しながら事業を進め、新型コロナの影響を受けながらもすべての成果指標について目標を上回ることができた。プノンペンにおいては、持続的な発展に寄与するため、適正な廃棄物管理システムの構築を目指し、積極的に現地での活動を行った。また、コンサルティング業務等の事業においても、地元民間企業の海外展開を引続き積極的に推進した。</p>	